

特集 1 平成24年度 市政懇談会の実施報告

例年、開催している市政懇談会を、8月25日に市中央公民館において一般市民、町内会役員、環境美化推進員ら99名の参加のもと行いました。主な内容をご紹介します。

市からの報告事項

1 海抜表示などの取り組みについて（総務部）

海抜表示板の設置目的、設置箇所、標示内容、設置方法と状況について報告しました。

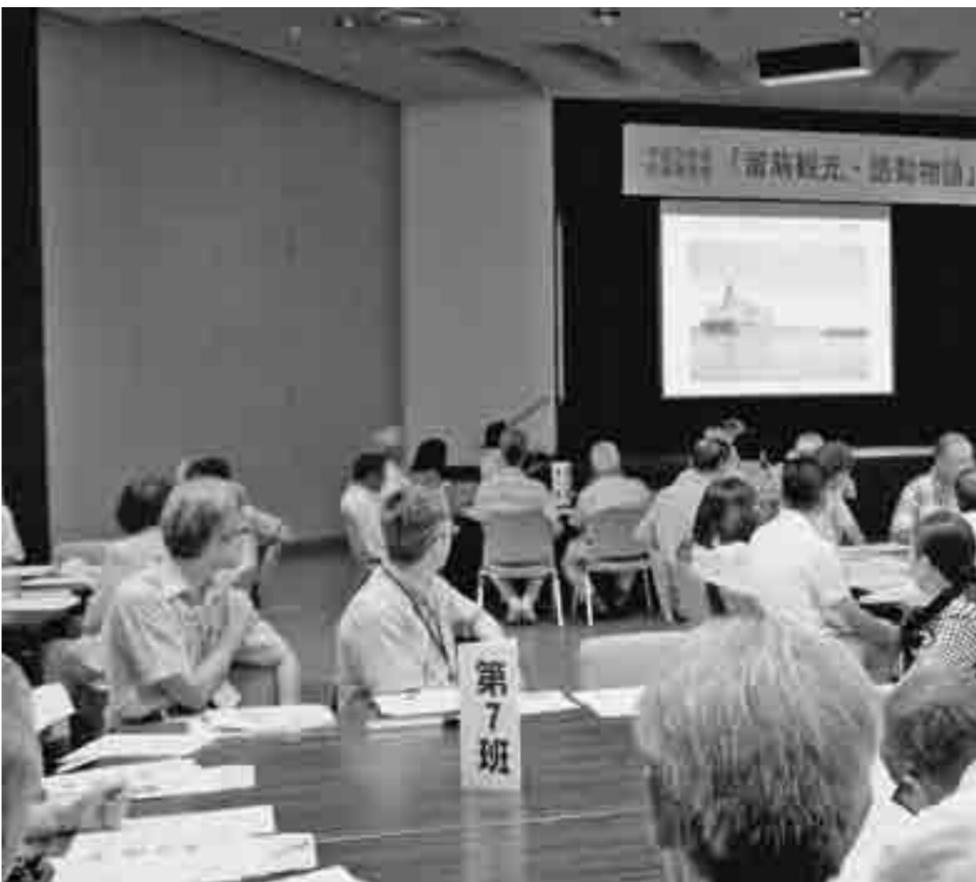


2 電力需給の状況について（総務部）
原子力発電所の停止に伴う節電の要請経過、計画停電への市の対応について報告しました。

3 留萌観光・感動物語事業について（地域振興部）
沖見海浜公園整備事業やるもい特産品ブランド力向上事業、客船入港、レトロバス「カズモ号」運行、留萌海岸花火大会の各事業について報告しました。

4 留萌小学校改築計画について（教育委員会）
当初計画からの内容変更に伴う説明と今後のスケジュールについて報告しました。

5 元気な留萌っ子のコーディネーショントレーニングについて（教育委員会）
導入経緯と意義、授業でのトレーニングを挙げ、導入後の効果を報告しました。



主な質疑応答

質問 今回は沖見小学校だが、今後、ほかの学校も閉校になると思うが閉校後の校舎についてはどのように考えているのか。

回答 小中学校の適正配置計画の中で、最終的には小学校3校、中学校2校という形を考えている。今回の沖見小学校、さらにはすでに閉校している校舎についても検討していく。

質問 学校は避難施設でもあるが、今後、学校が減っていく中で、避難施設としてどのように考えているのか。

回答 学校の統廃合があったとしても、利活用の検討の中で、十分避難施設として活用可能であれば、そのような利用についても検討していく。

市からの説明

(1) 新しいごみ処理（案）について（都市環境部）

市では、平成25年度に新たなごみ処理を導入するため、新しい分別の主な内容などを説明しました。その後、参加者が9つの班に分かれてグループ討議を行ったところ、各グループからさまざまな意見や要望が挙がりました。主な意見や要望は下表をご覧ください。

未来に向けて

今年度の市政懇談会では、新しいごみ処理案について、市民の関心の高さがうかがえました。留萌南部衛生組合での協議を経て市民への説明会が11月に開催される予定です。市では、これからも市民との「新・協働時代」のもとに「留萌力」を育て、未来に向けて子どもたちに笑顔、絆、夢を実現させる留萌を目指し、市民との対話を続け、情報を共有していきます。

VOICE

市民への周知などについて

- 分別収集開始時のようにモデル地区や試行期間を設定しないのか。
- 今後の市民説明会の日程を早く知らせてほしい。
- 町内会単位での説明会を実施してほしい。
- 高齢者世帯、単身者、町内会未加入者に対しても周知を徹底してほしい。
- 市民説明会時には、実際の品物を使うなど詳しい説明をお願いしたい。
- 冊子については、高齢者などにも分かるような、簡素な表示のものを作ってほしい。
- 高齢者向けにパンフレット一覧表などを配布してほしい



ごみの分別などについて

生ごみについては、特に夏場は腐敗や臭いの関係もあるので、夏季だけでも収集回数を増やせないか。

クリーンステーション内の生ごみ用のケース（トレイ、バケツなど）を設置してほしい。

生ごみの水切りの方法など、ごみの出し方や減量に関するアイデアなどがあれば知らせてほしい。

資源ごみの収集回数を増やしてほしい。

老朽化が激しいクリーンステーションを取り替えてほしい。

現在使用しているごみ袋が余った場合は、少しの間継続して使わせてほしい。

VOICE

特集 1 新・協働時代に向けて、これからも市民との対話を続けます。

市・政策調整課
☎42-1809
本庁舎2階